

Essay from Dentist

“DH パートナー”宣言
歯科衛生士へ贈る言葉 ⑦
**地域に根ざした
歯科医院に**
松林慈人（歯科医師）



♣ スタッフは財産

私の歯科医院は、大阪の中心部から電車で約20分、そこからバスで約15分、大阪のベッドタウンである豊中市というところにある、開業して5年目の医院です。マンション1階のテナントで、広さ約30坪、チェアは3台、スタッフは院長である私と、歯科衛生士4名（常勤3名、非常勤1名）、受付・歯科助手2名で、1日の来院患者数は約30名という、ごく平均的な歯科医院かと思います。

もしかすると、歯科衛生士の人数が多いなと思われたかもしれませんね。それは、私には「患者さんにお口をとおして幸せな生活を送っていただくお手伝いができる、予防を中心とする地域に根ざした歯科医院を築きたい」との想いがあるためです。今までのことを思えば、私の医院に来てくれたスタッフは本当に貴重な財産であり、今後も長く勤めてもらい、医院といっしょにどんどん成長してほしいと思っています。

♣ 予防を中心とした地域に根ざした歯科医院を目指して

開業した当初の医院はチェアが2台、スタッフは午前のみ出勤の非常勤歯科衛生士が1名、

受付・歯科助手が2名、それと、歯科医院に勤めたことのない素人の妻、という態勢でした。開業場所は、私の地元というだけであまり深く考えずに場所を決めましたが、医院の周囲、半径500m以内に9件の歯科医院がある激戦区です。

1日の来院患者数は、開業後約半年間はずつと1ケタの人数が続きました。当時は何とか経営を安定させたいとの思いから、診療終了時間ギリギリに飛び込んで来られた初診の患者さんでも受けつけて、スタッフには帰ってもらい、妻と私の2人だけで診療し、診療後2時間かけて後片づけをすることもありました。

「このままでは、本当に潰れてしまう、何とかしなくては！」と危機感を強く感じ、手当たり次第経営に関するセミナーを受講しました。そのなかで、「これこそがいまの医院に必要なものだ」と思ったのが、小原啓子先生のセミナーでした。小原先生は医院の理念に基づいたチーム医療の実践を提唱されていました。セミナー受講後、さっそく小原先生の事務所に電話をかけ、「先生、このままでは私の医院は潰れます。何とか助けてください！」と半ば強引に頼み込み、助言をいただくことになりました。



当院のスタッフと

そして医院の理念を考え、歯科衛生士を中心としたチーム医療を実践するため、まず歯科衛生士を募集することから始めました。しかし、そんな簡単に歯科衛生士が集まるわけもなく、ハローワーク、新聞折り込みの求人広告、無料配布の求人誌等に広告を載せ、知り合いの先生や歯科衛生士の方に紹介していただけないかとお願いをしたことで、すこしづつ集まっていき、約2年かかって、ようやくいまの態勢が整いました。

今後はこのメンバーといっしょに、“チーム医療”を実践していきたいと思っています。

♣ チームワーク

私は学生時代、ラグビーをやっていました。ラグビーは、1チーム15人で行う、球技のなかで1番人数の多いスポーツです。そんな大人数が試合で好き勝手に動いていたら、勝てるはずがありません。当然チームワークが必要になります。

「One For All. All For One」

という、ラグビーに関する有名な言葉があります。訳すと、「一人は皆のために、皆は一人のために」です。メンバー一人ひとりがチームの勝利のために全力を尽くし、またチームの皆は他のメンバーが苦しいときに助けるということです。

この言葉は、われわれの職場にも当てはまります。院長の示した、医院としての進むべき方向に向かい、スタッフ皆が1つのチームとして一致団結し働くなければ、チーム医療は実践できません。そして、困っている仲間がいれば、力になってあげる必要があります。ただし、自分が困ったときには他の誰かが助けてくれるだろう、というあまえた気持ちでいてはいけません。自分に与えられた役割をはたし、チームに



口腔内写真の相互実習の様子

貢献できるように、自己を研鑽し、自分の知識と技術をつねに高める努力が必要です。

♣ 終わりに

どうか皆さん、これだけはわかっていてください。スタッフのことを大事だと思わない院長はいません。その気持ちを伝えるのが苦手だったり、立場上難しかったりして、うまく伝わっていないことがあるだけなのです。

いまの環境にあまることなく、自分を高める努力をつねに行い、歯科衛生士としてのプロフェッショナルを目指してください。

私の医院も開業5年目のまだ未熟で、発展途上の医院です。今後スタッフ一丸となりチーム医療を実践し、すこしでも理想の医院へと近づくように頑張っていきます。皆さんもいっしょに頑張っていきましょう。



松林慈人／まつばやしよしひと

1995年 岡山大学歯学部卒業
2010年 松林歯科開業

松林歯科
〒560-0001
大阪府豊中市北緑丘2-2-23
ネオレジデンスけやき坂101